

第2回平方北小学校再編検討協議会 資料

前回の振り返りについて

○上尾市学校施設更新計画 基本計画

計画のコンセプト

持続可能な教育環境づくり

方向性1 新しい時代の学びにふさわしい学校づくり（教育環境の整備方針）

「安全・安心」、「新しい学び」、「地域」、「快適」をキーワードに、学校施設の在り方を示し、未来の子供たちのための学校施設の更新を進め、地域のシンボルとなる「魅力あふれる学校」の整備 ➤ **教育的効果の向上、シティセールス・定住促進の核**

【安全・安心】

- ・目標耐用年到来前に劣化状況の調査を実施し、延命利用又は建替の検討開始。
- ・学校を利用するすべての市民の安全を確保。

【新しい学び】

- ・変化に対応する柔軟性、可変性のある施設、多様な学習環境を展開できる教室空間の検討。
- ・小中一貫教育を見据えた環境整備。

【地域】

- ・学校と地域が連携・協働していくための空間、地域コミュニティの拠点となる施設の複合化の検討。

【快適】

- ・空調設備の充実、学校を利用するすべての人に配慮した環境整備。

方向性2 子供たちの学びに望ましい学校規模の維持（学校規模の適正化方針）

○ 子供たちの学びに望ましい学校規模

小学校	12 学級以上 18 学級以下
中学校	

1校あたりの学級数（特別支援学級を含まない）

左記に該当しない規模の学校は、現状の児童生徒数の下での教育的課題等について分析し、将来における児童生徒数の動向等を見据えながら、適宜、対応する。

○ 学校再編検討のタイミング

小学校は全ての学年で1学級編制の状態が、また、中学校は8学級以下の状態が5年以上継続することが見込まれる場合、統廃合を含めた学校の再編の検討を開始。

学校の再編に当たっては、保護者や地域住民との対話を通じて合意形成を図る協議の実施。

方向性3 計画的・効率的な学校施設の更新（学校施設の更新方針）

耐用年数の延長

安全性が確認できた建物の目標耐用年数の延長

延長に際して長寿命化工事を必須とせず、必要な維持管理を継続し、更新費用を確保

改築時期や財政負担の平準化

施設の複合化

児童生徒数の減少による余裕スペースの発生を念頭に、社会教育施設等と施設一部を複合化

児童生徒への様々な教育的効果の向上

経費の削減

- ・仮設校舎を建設しない建替計画や校舎の集約化など、最小の経費による効率的な施設更新
- ・教育的効果の最大化を目指した特別教室等の学校施設の共有化

将来の世代に過度な負担を先送りしない持続可能な行政運営

○上尾市学校施設更新計画 基本計画

方向性2 子供たちの学びに望ましい学校規模の維持（学校規模の適正化方針）

○ 子供たちの学びに望ましい学校規模

小学校	12 学級以上 18 学級以下
中学校	

1校あたりの学級数（特別支援学級を含まない）

左記に該当しない規模の学校は、現状の児童生徒数の下での教育的課題等について分析し、将来における児童生徒数の動向等を見据えながら、適宜、対応する。

○ 学校再編検討のタイミング

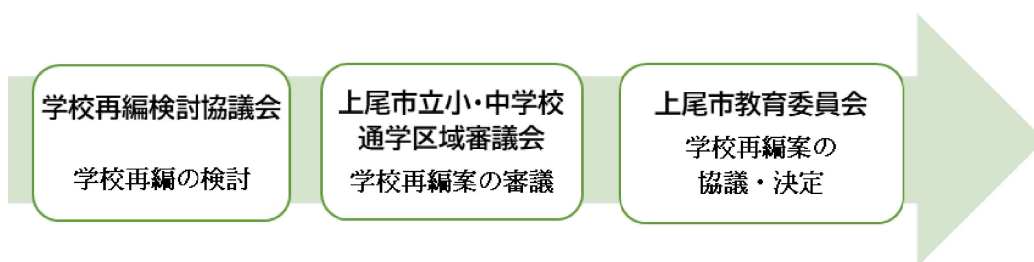
小学校は全ての学年で1学級編制の状態が、また、中学校は8学級以下の状態が5年以上継続することが見込まれる場合、統廃合を含めた学校の再編の検討を開始。

学校の再編に当たっては、保護者や地域住民との対話を通じて合意形成を図る協議の実施。

○上尾市学校施設更新計画 実施計画

方向性 2 子供たちの学びに望ましい学校規模の維持（学校規模の適正化方針）

- 学校再編の検討にあたっては、**検討対象校の単位で検討協議会を設ける** など、**保護者や地域住民との対話を通じて合意形成を図ること**
- 検討対象校においては、適正規模化の手法である「通学区域の調整」及び「統合」を効果的に組み合わせるなど、**学校や地域の実情を踏まえた最適な方法を検討**するとともに、必要に応じて通学手段の見直しも検討



5

○検討協議会の役割

○上尾市立平方北小学校再編検討協議会条例（令和6年3月22日上尾市条例第5号）

第1条 ～前略～上尾市立平方北小学校（以下「平方北小学校」という。）に関する**学校規模の適正化について協議し、もって子供たちの学びに望ましい学校規模を実現するため**、上尾市立平方北小学校再編検討協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

第2条 協議会は、平方北小学校に関し、**次に掲げる事項について協議する。**

- （1）**学校の再編に関すること。**
- （2）**通学区域の編成に関すること。**
- （3）**児童の安全確保に関すること。**
- （4）**前3号に掲げるもののほか、学校規模の適正化に関し教育委員会が必要と認める事項に関すること。**

6

○検討協議会の役割

子供たちの学びに望ましい学校規模を実現するため、
平方北小学校の**学校再編を協議**し、その内容を**取りまとめる**こと。



7

【第2回 協議会の内容】

- ① 子供たちの学びに望ましい学校規模について
 - ・説明、質疑応答
- ② 教育環境に関するアンケート調査結果について
 - ・説明、質疑応答
- ③ 意見交換

8

子供たちの学びに望ましい学校規模 について

9

○国の省令による学校規模の標準（基本計画P79～P82）

小・中学校の学級数は、「**12学級以上18学級以下**」

と規定されています。

ただし書きにより、地域の実態などにより弾力的な運用が認められる



○学校教育法施行規則（昭和 22 文部省令第 11 号）

第 41 条 小学校の学級数は、12 学級以上 18 学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。

第 79 条 第 41 条から第 49 条まで ～中略～ の規定は、中学校に準用する。

10

○国から示されているメリット・デメリット（基本計画P84に掲載）

【小規模校のメリットの一例】

- ・ 一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導が行いやすい
- ・ 様々な活動において、一人一人がリーダーを務める機会が多くなる
- ・ 運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって使える
- ・ 異年齢の学習活動を組みやすい、体験的な学習や校外学習を機動的に行うことができる

【小規模校のデメリットの一例】

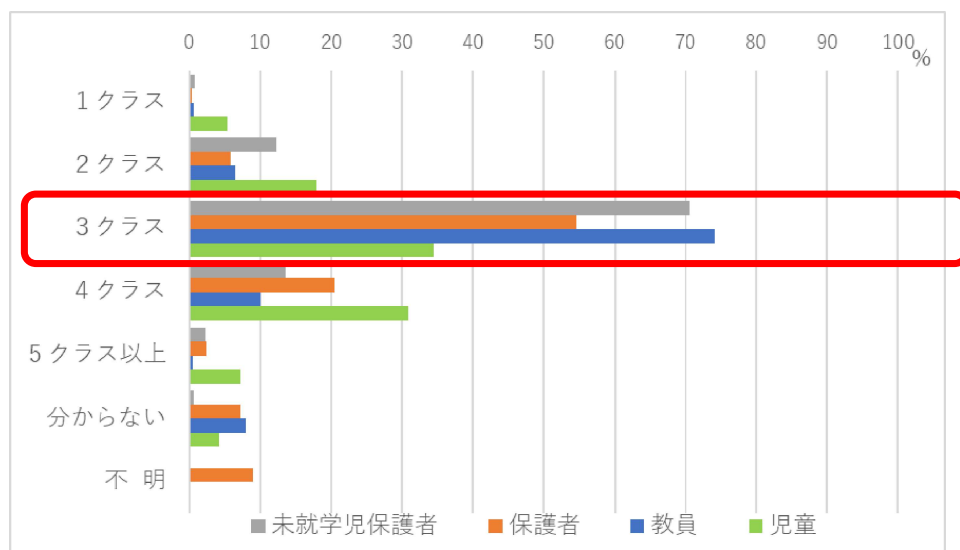
- ・ クラス替えが全部又は一部の学年でできない
- ・ クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない
- ・ クラブ活動や部活動の種類が限定される
- ・ 体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じる

11

○上尾市の学校規模の考え方（基本計画P55）

- ・ 令和4年に実施した「子供たちのための新しい学校づくりに関するアンケート」の回答

小学校の適切なクラス数は、「3クラス」が最も多い



12

○上尾市の学校規模の考え方（基本計画P82）

【学校規模の定義、許容できる最低規模の基準】

学校規模	小学校の基準	中学校の基準
許容できる最低規模	12学級	9学級
小規模校	6～11学級	3～8学級
準小規模校	—	9～11学級
適正規模校	12～18学級	12～18学級
準適正規模校	19～24学級	19～24学級
大規模校	25～30学級	25～30学級

【子供たちの学びに望ましい学校規模】

小学校	12学級以上 18学級以下
中学校	

1校あたりの学級数（特別支援学級を含まない）

13

○学校規模の適正化により見込まれる教育的効果（基本計画P85）

学校規模の適正化により見込まれる教育的効果

- ①児童生徒に身に付けさせるべき資質・能力を着実に育むことができる **教育環境の提供**
- ②学校を支える **教職員の組織体制や勤務環境の充実**



14

○学校規模の適正化により見込まれる教育的効果（基本計画P85）

①教育環境（人間関係、指導面）

- 子供たちが多様な集団の中で社会性や豊かな人間関係を築くことができる。
- 様々なグループでの学習活動などが設定でき、個に応じたきめ細かな指導と集団の相互作用を生かした指導の両方が可能となる。
- 児童生徒同士の人間関係や児童生徒と教員との人間関係に配慮した学級編制ができる。
- 児童生徒を多様な意見に触れさせることができる。
- 新たな人間関係を構築する力を身に付けさせることができる。
- クラス替えを契機として、児童生徒が気持ちや意欲を新たにすることができる。
- 学級同士が切磋琢磨したり、協力したりする環境を作ることができる。
- 学級に枠を超えた習熟度別指導や学年内での教員の役割分担による専科指導等の多様な指導体制をとることができる。
- 多くの教員がいることにより、生徒が多様な価値観に触れながら、学び合う機会が増え、資質を向上させることができる。

15

○学校規模の適正化により見込まれる教育的効果（基本計画P85）

②教員配置

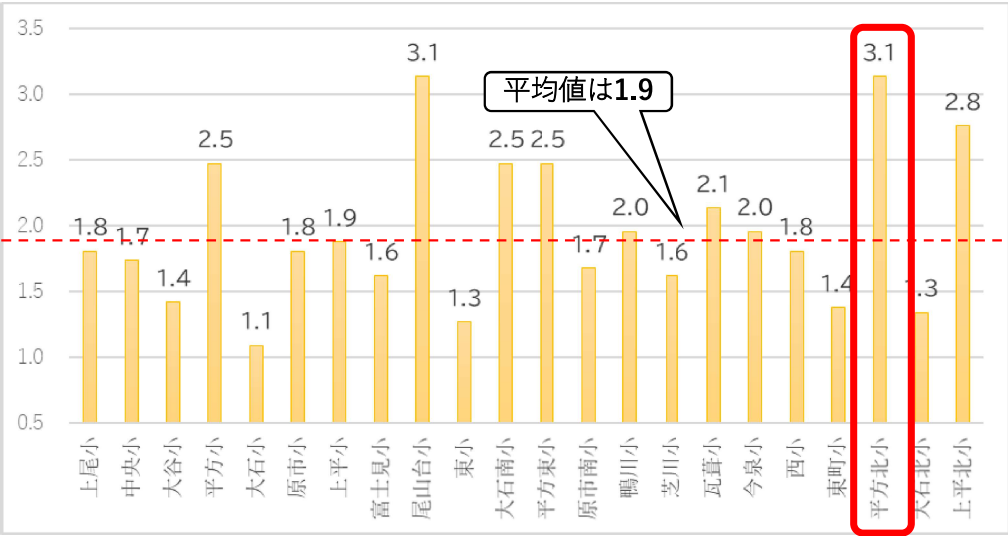
- 中学校では、全教科に専門の教員を配置することができる。
- 学級担任以外の教員を多く配置することができる。
- バランスのとれた教職員配置やそれらを生かした指導の充実が可能となる。

③学校管理・運営

- ティーム・ティーチングによる指導（T・T指導）、グループ別指導、習熟度別指導、専科指導等の多様な指導方法を実現することができる。
- 人員が十分なことから、教職員が気兼ねなく休暇を取得することができる。
- 校外における研修等に参加する機会が確保され、教職員の資質向上を図ることができる。
- 教職員一人当たりの校務や行事に関わる負担を分散・軽減させることができる。
- 教職員の負担軽減により、教材研究などより多くの時間を費やすことができる。

16

○教職員の配置（基本計画P37）



小学校教員1人当たりの校務分掌における主任等の担当数

○教職員の配置（基本計画P86）

小 学 校 1 2 学 級	
<教職員構成>	
校 長	1 人
教 頭	1 人
教 諭	1 4 人
養護教諭	1 人
事務職員	1 人
計	1 8 人

小 学 校 6 学 級	
<教職員構成>	
校 長	1 人
教 頭	1 人
教 諭	7 人
養護教諭	1 人
事務職員	1 人
計	1 1 人

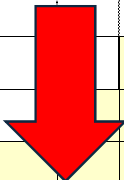
教職員が少ないがゆえ、担当する校務分掌も多い

○平方北小学校の現状

H30→R6
児童数
74人
40%減

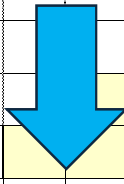
年度	児童数
H30	186
H31	164
R2	133
R3	132
R4	124
R5	115
R6	112
R7	?
R8	?
R9	?
R10	?
R11	?
R12	?

110人



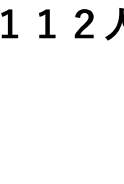
0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
23	15	26	21	28	27

112人



0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
17	13	17	23	17	23

112人



1年	2年	3年	4年	5年	6年
18	11	23	19	21	20

?人

推計と実人数の差
28人
20%減

質疑・応答

教育環境に関するアンケート調査の結果報告

21

○アンケートの概要（教育環境に関するアンケート調査報告書P1～2）

教育環境に関するアンケート

調査目的：学校の再編検討に向けた参考資料とするため

対象校：平方北小学校、尾山台小学校、大石南中学校
（学校再編検討対象校）

調査対象：教員、保護者、通学区域内の未就学児保護者

調査内容：学校規模、学校再編、学校再編の検討組織、
教育環境

22

○アンケートの概要（教育環境に関するアンケート調査報告書P10）

調査対象者及び回収率

対象者	アンケート種別	対象者数	回答者数	回答率
教員	教育環境に関するアンケート	49	47	95.9%
保護者	尾山台小学校の教育環境に関するアンケート（保護者の皆さま）	144	99	68.8%
	平方北小学校の教育環境に関するアンケート（保護者の皆さま）	90	46	51.1%
	大石南中学校の教育環境に関するアンケート（保護者の皆さま）	160	109	68.1%
未就学児保護者	尾山台小学校の教育環境に関するアンケート（未就学児保護者の皆さま）	83	38	45.8%
	平方北小学校の教育環境に関するアンケート（未就学児保護者の皆さま）	70	28	40.0%

23

○アンケートの概要（教育環境に関するアンケート調査報告書P2）

項目	設問	設問内容	対象者					
			教員	保護者			未就学児保護者	
				尾山台	平方北	大石南	尾山台	平方北
学校規模	①	小規模校はメリット・デメリットのどちらが大きいと感じるか	○	○	○	○		
	①ー1	小規模校はメリット・デメリットのどちらが大きいと感じるか※教員歴別	○					
	②	現在の規模で困っていること等はあるか		○	○	○		
	③	1学年あたりの適切と考えるクラス数					○	○
	③ー1	上記選択理由					○	○
	④	教員1人あたりの負担感※教員歴別	○					
学校再編	①	学校規模適正化のメリット(効果)、期待すること	○	○	○	○		
	②	学校再編に望ましい手法		○	○	○	○	○
	③	学校再編検討で配慮する点					○	○

24

○アンケートの概要（教育環境に関するアンケート調査報告書P2）

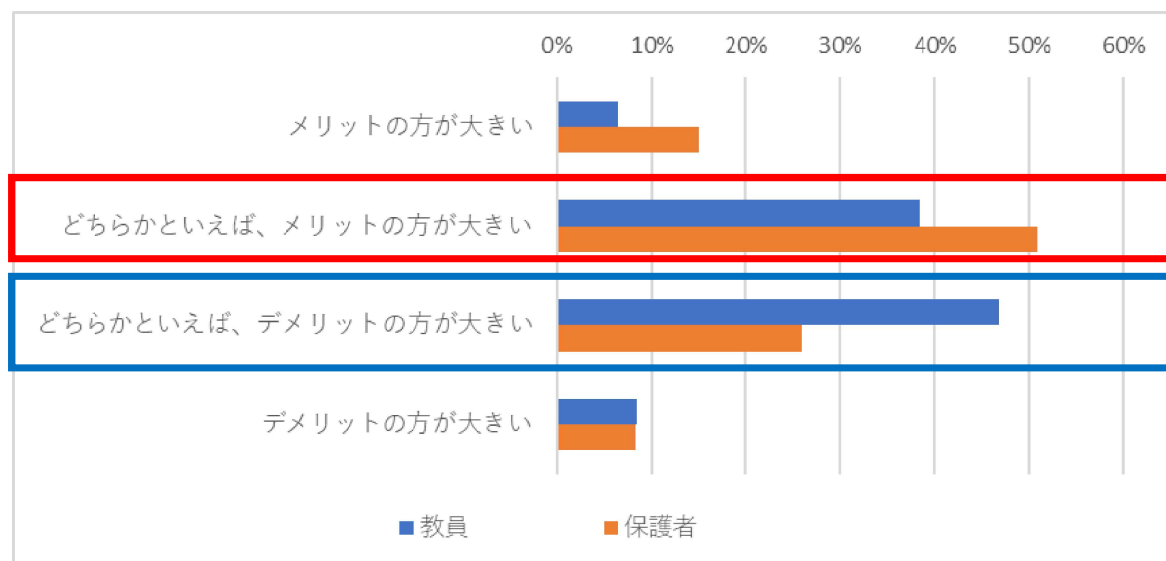
項目	設問	設問内容	対象者					
			教員	保護者			未就学児保護者	
				尾山台	平方北	大石南	尾山台	平方北
学校再編の検討組織	①	構成メンバー					○	○
	②	市民公募メンバー	○	○	○	○	○	○
教育環境	①	学校で身に付けてほしいこと					○	○
	②	学校教育に求めるもの					○	○
	③	どのような学校を望むか					○	○

25

○アンケート調査の結果について（教育環境に関するアンケート調査報告書P3）

3校の保護者254名と教員47名の回答

1) -①「小規模校のメリット・デメリット」（保護者、教員）



26

○アンケート調査の結果について（教育環境に関するアンケート調査報告書P5）

3校の保護者254名と教員47名の回答

1) -①「小規模校のメリット・デメリット」（保護者、教員）の自由記述

どちらかというともメリットが大きいと回答した方の、メリットについての記述内容

メリットに関すること（保護者：42件、教員：17件）

保護者

・すべての先生がどの学年の子どもの事も把握してくれているので、相談事やちょっと学校へ行った際でも安心してどの先生にもお話する事が出来ます。先生方が一人一人に寄り添って指導や相談に乗ってくれるので心強いです。

教員

・子供一人一人をしっかりと見て指導することができるから。児童はきめ細やかな指導をしてもらえるから、一人あたりの使用する物や空間、人、時間等が必然的に多くなるから。

27

○アンケート調査の結果について（教育環境に関するアンケート調査報告書P5）

3校の保護者254名と教員47名の回答

1) -①「小規模校のメリット・デメリット」（保護者、教員）の自由記述

どちらかというともデメリットが大きいと回答した方の、デメリットについての記述内容

デメリットに関すること（保護者：33件、教員：22件）

保護者

・実際、小規模校に勤めているので、クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができないことが大きなデメリットであると強く感じます。学校行事、勉強などで仲間と競争する機会が少ないのは残念です。

教員

・クラス替えがないことで、人間関係が固定化してしまう。いじめ等の生徒指導上の問題が発生すると、その問題を抱えたまま小学校6年間を過ごすことになってしまう。

28

○アンケート調査の結果について（教育環境に関するアンケート調査報告書P5）

3校の保護者254名と教員47名の回答

1) -①「小規模校のメリット・デメリット」（保護者、教員）の自由記述

どちらかというともメリットが大きいと回答した方の、デメリットについての記述内容

デメリットに関すること（保護者：1件、教員：2件）

保護者

- ・ クラブ数をもっとあると嬉しい。

教 員

- ・ 切磋琢磨することに慣れていないので、外に出ると緊張しやすくなってしまう。
- ・ 集団による活動において、できる課題が限られてしまう。

29

○アンケート調査の結果について（教育環境に関するアンケート調査報告書P7）

3校の保護者254名の回答

1) -②「現在の学校規模で困っていること等はあるか」（保護者）

現在の学級数・学校規模で、困っていることや不安に思っていることはありますか。（1つ選択）【単一選択（必ず一つを選択）】

全体		ある	ない
選択数	254	88	166
構成比	100.0%	34.6%	65.4%

30

○アンケート調査の結果について（教育環境に関するアンケート調査報告書P7）

3校の保護者254名の回答

1) -②「現在の学校規模で困っていること等はあるか」（保護者）の自由記述

「ある」と回答した方の、その理由

- ・ 友達関係の問題が改善されない。PTA活動など、保護者の関わりも負担の方が大きく協力できなくなる。
- ・ 運動会で競争する意識がもてない。クラス替えがない。役員や旗当番がとても負担が大きい。クラブ活動がいろいろできない。
- ・ 苦手な人と同じクラスになる確率が上がったり、入りたい部活がなかったり、諦めることが多いのも、小規模校だと思います。

31

○アンケート調査の結果について（教育環境に関するアンケート調査報告書P7）

平方北小学校と尾山台小学校の未就学児保護者66名の回答

1) -③「1学年あたりの適切と考えるクラス数」（未就学児保護者）

小学校における1学年あたりのクラス数について、あなたが適切と考えるクラス数を次の中から1つ選択してください。						
全体		1クラス	2クラス	3クラス	4クラス	5クラス以上
選択数	66	2	19	39	5	1
構成比	100.0%	3.0%	28.8%	59.1%	7.6%	1.5%

32

○アンケート調査の結果について

平方北小学校と尾山台小学校の未就学児保護者66名の回答

1) -③- 1 「**クラス数選択の理由**」 (未就学児保護者) ※複数回答

前問「1学年当たりの適切と考えるクラス数」で回答した理由に近いものはどれですか。

次の中から、当てはまるものをすべて選択してください。

全体		1 全学年 の児童と 交流させ やすい	2 深い交 友関係の 構築を期 待できる	3 個々の 活動の場 が増える	4 教員の 目が行き 届きやす い	5 体育館 など余裕 をもって 使うこと ができる	6 学校・ 地域・保 護者が一 体となっ た活動が しやすい	7 広い交 友関係の 構築をき たいでき る	8 クラス 替えがあ り人間関 係が固定 化しない	9 多数の 先生と関 わりがで きやすい	1 0 クラ ブ活動や 委員会等 の選択肢 が多い	1 1 運動 家などの 醍醐味を 体験させ られる	1 2 多様 な意見に 触れさせ ることが できる	1 3 その 他
選択数	66	16	24	12	35	9	5	26	40	20	12	20	17	1
構成比		24.2%	36.4%	18.2%	53.0%	13.6%	7.6%	39.4%	60.6%	30.3%	18.2%	30.3%	25.8%	1.5%

※回答者数に対する割合です

○アンケート調査の結果について (教育環境に関するアンケート調査報告書P17)

3校の教員47名の回答

1) -④- 「**教員1人当たりの負担感**」 (教員)

問 1-3 小規模校は、適正規模校（1校あたり 12 学級から 18 学級）と比べて、教員 1 人あたりの負担が大きいと思うことはありますか（1 つ選択）

全体	負担が大きいと 思う	どちらかといえ ば、負担が大き いと思う	どちらかといえ ば、負担が大き いと思わない	負担が大きいと 思わない
47	24	12	9	2
100.0%	51.1%	25.5%	19.1%	4.3%

76.6%

○アンケート調査の結果について

3校の保護者254名と教員47名の回答

2) -①「学校規模適正化のメリット(効果)、期待すること」(保護者、教員)※複数回答

選択肢	選択数	割合
クラス替えなどができるようになる(人間関係に配慮した学級編制ができる)	142	56%
	33	70%
学校間の教育効果の偏りがなくなる	73	29%
	7	15%
人間関係の広がりにより多様な価値観が形成される環境となる	125	49%
	32	68%
教員負担を軽減するバランスの取れた教員配置が行えるようになる	60	24%
	26	55%
クラブ・部活動の選択肢を広げることや学校行事をより多くの仲間で行うことができる	155	61%
	27	57%
学級同士が切磋琢磨したり、協力したりする環境を作れる	91	36%
	22	47%
様々なグループ編制により、個別指導と集団指導の両方が可能となる	50	20%
	14	30%
学年内での習熟度別指導や専科指導等の多様な指導体制がとれる	54	21%
	10	21%
多くの教員の多様な価値観に触れて学習することで、資質を向上させられる	56	22%
	17	36%
学校再編で得られるメリット少ない、特にな	22	9%
	3	6%
その他	7	3%
	1	2%

※回答者数に
対する割合です

■ 保護者
■ 教員

35

○アンケート調査の結果について

平方北小学校と尾山台小学校の保護者145名と教員26名の回答

2) -①「学校規模適正化のメリット(効果)、期待すること」(保護者、教員)※複数回答

選択肢	選択数	割合
クラス替えなどができるようになる(人間関係に配慮した学級編制ができる)	93	64%
	23	88%
学校間の教育効果の偏りがなくなる	37	26%
	2	8%
人間関係の広がりにより多様な価値観が形成される環境となる	75	52%
	15	58%
教員負担を軽減するバランスの取れた教員配置が行えるようになる	34	23%
	14	54%
クラブ・部活動の選択肢を広げることや学校行事をより多くの仲間で行うことができる	75	52%
	12	46%
学級同士が切磋琢磨したり、協力したりする環境を作れる	57	39%
	13	50%
様々なグループ編制により、個別指導と集団指導の両方が可能となる	32	22%
	8	31%
学年内での習熟度別指導や専科指導等の多様な指導体制がとれる	35	24%
	9	35%
多くの教員の多様な価値観に触れて学習することで、資質を向上させられる	33	23%
	12	46%
学校再編で得られるメリット少ない、特にな	14	10%
	2	8%
その他	5	3%
	0	0%

※回答者数に
対する割合です

■ 保護者
■ 教員

36

○アンケート調査の結果について

3校の保護者254名と未就学児保護者66名の回答

2) -②「学校再編に望ましい手法」(保護者、未就学児保護者) ※複数回答

選択肢	選択数	割合
通学区域の見直し	158	62%
	29	44%
他の小学校との統合を行う	78	31%
	21	32%
小学校と中学校で統合を行う	50	20%
	10	15%
通学区域に関係なく、希望する学校に就学できるようにする(学校選択制)	85	33%
	34	52%
適正な教育環境が確保されれば手法にはこだわらない	63	25%
	19	29%
どんなに生徒数が減っても問題ない(学校再編をする必要はない)	26	10%
	4	6%
その他	14	6%
	0	0%

■ 保護者
■ 未就学児保護者

※回答者数に対する割合です

○アンケート調査の結果について

平方北小学校の保護者46名、通学区域に居住する未就学児保護者28名の回答

2) -②「学校再編に望ましい手法」(保護者、未就学児保護者) ※複数回答

選択肢	選択数	割合
通学区域の見直し	27	59%
	13	46%
他の小学校との統合を行う	17	37%
	8	29%
小学校と中学校で統合を行う	8	17%
	4	14%
通学区域に関係なく、希望する学校に就学できるようにする(学校選択制)	20	43%
	13	46%
適正な教育環境が確保されれば手法にはこだわらない	13	28%
	10	36%
どんなに生徒数が減っても問題ない(学校再編をする必要はない)	7	15%
	0	0%
その他	3	7%
	0	0%

■ 保護者
■ 未就学児保護者

※回答者数に対する割合です

○アンケート調査の結果について

平方北小学校と尾山台小学校の未就学児保護者66名の回答

2) -③「学校再編検討で配慮する点」(未就学児保護者)※複数回答

学校再編を検討する場合に、どのような点に配慮すべきと考えますか。次の中から 3 つまで選択してください。

全体		1 子供たちの通学(時間・距離・方法)と安全確保	2 子供たちの人間関係づくりや心身の負担軽減	3 魅力的な学校教育の実施や教育環境の整備	4 再編する学校の子供たち同士の事前交流	5 学校再編で学校が空き施設になった場合の有効活用策の提示	6 避難所機能の存続・充実	7 学校を拠点とし、地域住民が必要なサービス機能の整備(複合化)	8 保護者・地域住民・学校関係者等との十分な協議と丁寧な説明	9 その他
選択数	66	57	41	20	12	10	14	5	20	0
構成比		86.4%	62.1%	30.3%	18.2%	15.2%	21.2%	7.6%	30.3%	0.0%

※回答者数に対する割合です

通学区域に関するアンケート
調査報告書

○アンケートの概要（通学区域に関するアンケート調査報告書P1～2）

通学区域に関するアンケート

調査目的：学校の再編検討に向けた参考資料とするため

対象校：平方小学校、大石南小学校、平方東小学校、
今泉小学校

調査対象：上記の通学区域内の未就学児保護者

調査内容：通学区域

41

○アンケートの結果について（通学区域に関するアンケート調査報告書P3）

問1 現在、平方北小学校は、1学年から6学年まで1学級編制の小規模な学校となっています。
今後、お子様が入学予定の小学校のほかに、平方北小学校への就学を選択できるようになった場合、平方北小学校への就学を選択しますか。次の中から1つ「○」を記してください。

全体	1. 選択する	2. 選択しない	3. 分からない
512	5	462	45
100.0%	1.0%	90.2%	8.8%

42

○アンケートの結果について（通学区域に関するアンケート調査報告書P3）

問2 「問1」で回答した理由について、次の中から1つ「○」を記してください。						
「問1」 回答	問2 回答数	1. 小規模 な学校だから	2. 学校が 近くなるから	3. 学校が 遠くなるから（近い学 校があるから）	4. きょう だいが他の 学校へ就学 しているから	5. その他 ※
1. 選択 する	5	2	2	0	0	1
	100.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%
2. 選択 しない	457	22	2	371	51	11
	100.0%	4.8%	0.4%	81.2%	11.2%	2.4%
3. 分か らない	42	3	2	20	3	14
	100.0%	7.1%	4.8%	47.6%	7.1%	33.3%
全体	504	27	6	391	54	26
	100.0%	5.4%	1.2%	77.6%	10.7%	5.2%

43

○アンケートの結果について（通学区域に関するアンケート調査報告書P4～5）

問3 「問1」のように、就学する学校を選択できるようになった場合、どのようなところを特に重視して学校を選びますか。次の中から1つ「○」を記してください。

全体	1. 友達が多 く入学する	2. 通学距離	3. 通学の安 全性	4. クラス替 えができる学 校規模	5. 児童数の 少ない 小規模な学校	6. その他
507	45	266	151	26	3	16
100.0%	8.9%	52.5%	29.8%	5.1%	0.6%	3.2%

問4 「問1」のように、就学する学校を選択できるようになった場合、配慮する点は何だと思いますか。次の中から1つ「○」を記してください。

全体	1. 児童の負担 を考慮した 通学距離	2. 児童が安全 に通学できる通 学路	3. 保護者や地 域住民に対する 意見聴取	4. 保護者や地 域住民に対する 説明や情報提供	5. その他
506	256	213	18	11	8
100.0%	50.6%	42.1%	3.6%	2.2%	1.6%

44

質疑・応答

45

意見交換

46

意見交換の内容

- ・ 平方北小学校の現状の学校規模について感じていること
- ・ アンケート等を踏まえて考える望ましい学校規模について

【頂いた意見】

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

47

【頂いた意見】

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

48

お疲れさま
でした